

諸宗教対話委員会◆イスラムとの対話

「シャハーダ」——イスラムの第一の柱



講師のフランシス・ザビエル・プルハスタント神父

2022年10月29日(土)、17時半から本部事務局1階会議室で諸宗教対話活動の一環として、「イスラムとの対話」が行われた。

今年度の本委員会の第3回目の行事は、イスラムとの対話に初めて焦点を当てた。この5年間の活動で、神道や仏教とのさまざまな教派、またあらゆる新宗教の方々と出会い、その宗教について多く学び対話してきたが、世界第2位の信者数を誇る宗教、イスラムについて学ぶ時がこれにきたのである。もちろん、たった1回の講義でイスラム全体を紹介することはできないので、今回は「イスラムの五つの柱」の第一番目、つまり創始者ムハンマドの宗教の基礎を中心にして講演が行われた。「第一の柱」は、アラビア語で「シャハーダ」と呼ばれるイスラムの信仰告白だ。「アッラーのほかに神はない。ムハンマドはその使徒(預言者)である」という内容である。

講師は、広島のエリザベト音楽大学に勤めるイエズス会士のフランシス・ザビエル・プルハスタント神父。講演は会場に興味深い質問を呼び起こし、カトリック教会、プロテスタント教会、その他の宗教から集まった約35人の参加者は多くのことを考えさせられた。今後、諸宗教対話委員会の活動の中で、他の4つの柱に関する講演を順次重ね、イスラムの研究を続けていくことを検討している。

(諸宗教対話委員会 ロック・ビビアーノ神父)

教区監査の集い 相互監査が復活

2022年の中間決算が、12月の顧問会によって承認され、終了した。この決算では、コロナ禍により中断されていた相互監査が、2019年度中間決算以来3年ぶりの復活となった。

大阪大司教区では、2001年度から自教会監査の会計監査制度を導入、2003年度から「ブロック相互監査制度」を開始した。この歴史の中で、3年間に及ぶ相互監査の中断を余儀なくされたのは初めてであった。

相互監査の復活を受け、教区監査チームによる監査も復活した。教区監査チームは2011年度に発足。現在は第4期、前田万葉大司教任命による16人のメンバーに監査をお願いしている。2011年度決算の和歌山地区から始まり、今回の北摂・大阪北地区で2巡目が終了したことになる。

この歴史の中で、3年間に及ぶ相互監査の中断を余儀なくされたのは初めてであった。相互監査の復活を受け、教区監査チームによる監査も復活した。教区監査チームは2011年度に発足。現在は第4期、前田万葉大司教任命による16人のメンバーに監査をお願いしている。2011年度決算の和歌山地区から始まり、今回の北摂・大阪北地区で2巡目が終了したことになる。

今回の相互監査の結果を振り返ると、大きな成果を残している。今年、3年ぶりの相互監査と監査チームによる監査が行われ、多くの課題も表面化することとなった。金融機関の店舗の減少や煩瑣な手続き、硬貨を扱う手数料の問題、小教区で進んでいる高齢化と会計の担い手の問題。その多くは

単純には解決できない。一方では、宗教学者としての公明正大な会計を、社会的に厳しく求められてもいる。今後も、小教区の皆様のご協力を仰ぎつつ、また寄り添いながら、宗教学者に課された責務を果たしていくことになる。

(文 教区本部事務局 経理課)

「生きる」——難民移住者

盗癖男と黄昏どき

ソンさん(仮名)は、刑務所で泣きながら服役をしていました。彼は15歳の時に難民として独りで日本に漂着して以来、良い大人に出会うことなく、窃盗集団の「パシリ」(使い走り)をさせられたり、覚せい剤を使用したりして何度も服役を重ねてきました。出所して仕事に就いても、クスリ仲間と呼ばれては金銭をせびられ、誰かが捕まれば罪をなすりつけられ、懲罰を受ける繰り返しでした。



2021年の夏にソンさんは薬局で腰痛に効く鎮痛剤を万引きし「御用」となり、私は情状

証人として法廷に立ちました。そのとき彼は初めて法廷で涙しました。服役中は毎月欠かさず「泣きながら書いてます」と私に手紙を送りました。1年後、仮釈放が認められ、ソンさんは「私、人生変わった」「もう悪い友だち、関係しない」と言い、力仕事をみつめて愛知県へ移ってゆきました。その3か月後、ソンさんは再び捕まりました。スーパーマーケットで果物を購入した後に売り場に返って苺2パックを万引きして取り押さえられたということでした。

「累犯の多さ」「出所3か月後の犯行」で実刑は免れない見通しでしたが、弁護士と私は検察庁、警察署、地裁を廻りました。諦めずにお願ひした甲斐がありました。私は要望通り十字架を郵送し、黄昏どきにはソンさんにショートメールを送るようにする日々です。

(文 シナピス事務局 ビスカルド篤子)

信仰養成連続講座

ゆるしと和解 病者の塗油 経路 秘蹟

エウカリスチア

カテキズム第2編: 「キリスト教の神秘を祝う」

月 日: 毎月 第4木曜日 (8月・12月休み) 2023年1月26日 (木) スタート

場 所: サクラファミリア (大阪梅田教会)

時 間: 18:30 ~ 20:00 (配信あり)

講 師: 酒井俊弘補佐司教

費 用: 無料

申込み不要・随時参加可能

主催: カトリック大阪大司教区 信徒養成委員会
問合せ: 大阪教区本部事務局 (06-6941-9700)